

石川県七尾美術館だより

平成25年7月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第74号（夏号）



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

長谷川等伯展～大徳寺と等伯を中心に～

国指定重要文化財「商山四皓図襖」(部分)

長谷川等伯筆 京都市 真珠庵蔵

慶長6(1601)年 ※前期(8/10～31)展示

展覧会紹介

平成25年7月6日(土) ~ 10月27日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

長谷川等伯展

～大徳寺と等伯を中心に～

8月10日(土)～9月16日(月・祝)

【会期中無休】

◆第1・第2・第3展示室

今年、安部龍太郎氏の小説『等伯』が直木賞を受賞され、全国から注目されている「等伯」ですが、今年もまた七尾美術館恒例の「長谷川等伯展」がやってきました。

能登国七尾出身の長谷川等伯(1539～1610)は、すでに20歳代には信春の名で絵仏師として活躍、その頃には京都を往来し、30歳代中頃に正式に京都へ移住したと考えられています。一時期狩野派に学ぶも、当時一級の文化人たちと交流し、一派を成して豊臣秀吉などの御用を務めました。

その等伯が、塔頭寺院を含めると最も多くの作品を遺したのが大徳寺です。京都紫野の地に建つ大徳寺は、鎌倉時代の創建以来、長い歴史と高い格式を誇る臨済宗大徳寺派の大本山です。数々の名僧を輩出し、茶の湯をはじめ日本文化に多大な影響を与えました。等伯も錚々たる面々が集うこの場所でも多くのことを学び、ここを舞台に数々の名作を制作したのです。

シリーズ18回目となる本年は、「大徳寺と等伯」に焦点をあて、一部関連史料や信春時代作品なども併せ、5つのキーワードで23点を紹介します。石川県初公開作品が半数を占め、京都でも普段拝見することが難しい作品群です。是非この機会にご覧ください。

■信春時代の山水図■

一昔前、等伯の信春時代に描いた山水図はほとんど知られていませんでした。それが、ここ20年程前から新たな作品が数点確認されました。本展では、2点(3幅)の信春時代山水図を紹介します。

■信春から等伯への変遷■

等伯は、信春時代に描いた画題を、等伯時代にも描いています。能登時代の仏画の特徴として、優れた色彩感覚が挙げられますが、上洛後はさらに熟達した描法はもとより、能登時代に培われた優れた色彩感覚が発揮されているのも魅力です。

⑤「羅漢図」長谷川等伯 京都市・大徳寺蔵



一方、一部の史料には等伯が曾我氏に師事したとの記述があります。今回は信春時代の「達磨図」(七尾市・龍門寺)を描くにおいて影響を受けたとされる、「一休さん」でお馴染みの一休宗純が着賛した曾我墨溪筆「達磨図」(京都市・真珠庵)の複製を、龍門寺本と並べて展示します。皆さんも見比べてみてください。

■大舞台は京都紫野大徳寺なり■

大徳寺は先程述べたように、文化の拠点でし

⑦右下:「高士騎驢図屏風」長谷川等伯 京都市・高桐院蔵

⑩下:「四愛図座屏」(部分)長谷川等伯 京都市・聚光院蔵(前期8/10～31展示)



た。そんな大徳寺で等伯は数々の作品を描いたのです。今回の出品作品だけでも大徳寺、塔頭では真珠庵、三千家の菩提寺・聚光院、細川家菩提寺・高桐院、春屋宗園開山の三玄院、史料を含むと前田家菩提寺・芳春院と、5か所となります。さらに作品は、現存しないものの、様々な史料に総見に作品は、現存しないものの、様々な史料に総見

この大舞台で活躍するには、高い技量と相当な人脈がなければ無理でしょう。その人脈の中には、一体どんな人びとが存在していたのでしょうか。

■錚々たる面々との親交■

等伯が大徳寺で活躍することをバックアップした人物たち…それは誰なのか。千利休がその一人といわれていますが、その利休が施主となって建築された三門（金毛閣）2階増築部分に、等伯が天井画などを描いています。そして、その三門落慶法要で導師を務めたのが春屋宗園和尚でした。春屋は大徳寺111世で、三玄院の開山でもあり、等伯が、和尚の留守中に描いた「で知られる、その和尚です。結局許されて「山水図襖」を描き上げたといわれますが、春屋は大変な高僧で、錚々たる大名や茶人が参禅の師と仰ぐ人物でした。利休も孫を弟子入りさせ、細川幽斎、小堀政一（遠州）、黒田長政、古田織部、前田利長、浅野幸長、森忠政なども帰依しています。等伯はその春屋の肖像画を3点も描いているのです。利休はもちろんのこと、春屋にも認められた等伯は、天下の絵師」といってもいいでしょう。本展では、その3点の春屋像を並べて展示します。

⑩「春屋宗園像」長谷川等伯
文禄3（1594）年 京都市・三玄院藏



■能登での後継者・新出作品■

等伯が上洛した後、能登での長谷川派後継者と考えられている長谷川等誉（？～1636）。現在等誉筆と確認されている作品の多くが「涅槃図」です。それが最近の調査によって、「日蓮聖人像」「鬼子母神十羅刹女像」が新たに確認され、本展

で初公開します。能登にはまだ等誉の作品があると思われまふ。皆さんも是非ご覧いただき、新発見にご協力ください！

《出品作品》（○は国指定重要文化財、□は石川県指定文化財）

- ① 山水図 2幅 長谷川信春（等伯）個人
- ② 山水図 1幅 長谷川信春（等伯）石川県七尾美術館
- ③ 日蓮聖人像 1幅 長谷川信春（等伯）珠洲市 本住寺
- ④ □十六羅漢図 8幅内1幅 長谷川信春（等伯）七尾市 霊泉寺
- ⑤ 羅漢図 1幅 長谷川信春（等伯）京都市 大徳寺
- ⑥ □達磨図 1幅 長谷川信春（等伯）七尾市 龍門寺
- ⑦ □陳希夷睡図 1幅 長谷川信春（等伯）石川県七尾美術館
- ⑧ ○山水図襖 32面内4面 長谷川信春（等伯）京都市 圓徳院
- ⑨ 牛図座屏 2基（2面） 長谷川等伯 京都市 三玄院
- ⑩ ○春屋宗園像 1幅 長谷川等伯 京都市 三玄院
- ⑪ 春屋宗園像 1幅 長谷川等伯 京都市 三玄院
- ⑫ 春屋宗園像 1幅 長谷川等伯 個人
- ⑬ ○南山四皓図襖 8面内4面 長谷川等伯 京都市 真珠庵
- ⑭ ○蜆子猪頭図襖 4面 長谷川等伯 京都市 真珠庵
- ⑮ 玉甫紹琮像 1幅 長谷川等伯 京都市 高桐院
- ⑯ 四愛図座屏 2基（4面） 長谷川等伯 京都市 聚光院
- ⑰ 高士騎驢図屏風 4曲1隻 長谷川等伯 京都市 高桐院
- ⑱ 日蓮聖人像 1幅 長谷川等誉 石川県 本主寺
- ⑲ 鬼子母神十羅刹女像 1幅 長谷川等誉 石川県 本主寺
- ⑳ 曼荼羅本尊 1幅 日有（写） 石川県 本主寺
- ㉑ 紫野芳春院御建立以来縁起2巻内1巻 有峯宗恕（写） 京都市 芳春院

◆参考展示◆

- ②②複製松林図屏風 6曲1双 石川県七尾美術館
（原本・長谷川等伯／東京国立博物館）
- ②③複製達磨図 1幅 京都市 真珠庵
（原本・曾我墨溪／真珠庵）

※⑬は前期（8／10～8／31）、⑭は後期（9／1～9／17）展示。
⑯は前期・後期で表裏展示替え。

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	800円	700円	300円
小学生以下無料・団体は20名以上です。	350円	300円	

等伯展関連催し色々♪

●特別講演会

日時 8月18日（日）午後2時
講師 武田恒夫氏（美術史家）
演題 「等伯と大徳寺―障壁画をめぐる―」
☆ご聴講の方全員に、等伯関連ハガキを1枚プレゼントします。

●二人語り芝居「等伯と静寂のもの」

日時 8月25日（日）午後2時
出演 やすきひろこ、吉田智也
ユンツボタジ（竹パーカッション）
※8月10日午前10時より当館で整理券配付。

●等伯とOEK 時代を超えた共演

オーケストラ・アンサンブル金沢設立25周年記念
県内縦断コンサート七尾公演
日時 9月8日（日）午後2時
※8月10日午前10時より当館及び、石川県立音楽堂チケットボックスで整理券配付。
詳しくは6ページをご覧ください。

右記催しは全て入場無料、会場は当館アートホール、定員200名（先着順）。

○スペシャル講座「参加無料・要観覧券」

日時 9月1日（日）午後2時
講師 当館学芸員
定員 15名（先着順）
※8月10日午前10時より電話申込受付開始。

七尾美術館 ☎0767（53）1500
友の会会員先行受付
8月3日（土）午前9時～

○等伯子どもなんでもクイズ「参加無料」

対象 小中学生
☆全問正解された方の中から抽選で、等伯関連グッズをプレゼントします。

池田コレクションが語るもの

「池田文夫氏愛玩の逸品たち」

7月6日(土)～8月4日(日)

◆第1・第2展示室

「七尾美術館とともにある「池田コレクション」

近年、特に高い人気をほこる長谷川等伯。いうまでもなく地元出身の巨匠である等伯は、当館にとって欠かすことのできないテーマであるといえるでしょう。しかし当館には、もうひとつ重要な「顔」があります。それが、この「池田コレクション」です。

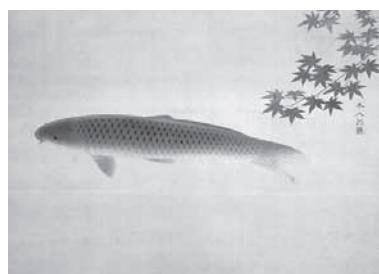
「池田コレクション」の形成は、昭和63年(1988)に七尾市出身の実業家・池田文夫氏(1907～87)が蒐集した美術品のうち、125点が七尾市に寄贈されたことを発端としています。そして、平成7年に当館は開館しますが、建設の目的が「池田氏のコレクションを所蔵・展示することでした。つまり「池田コレクション」は、当館のスタート時よりすでに深く関わっているのです。

そして、池田家皆様の大変なご厚意は開館後も継続され、開館時には22点、開館10周年の平成17年には23点、そして開館15周年に先立つ平成23年には34点と、引き続き新しい作品をご寄附いただきました。「池田コレクション」に、新たな仲間が加わっていったのです。

作品の増加に従って、コレクションの性格も少しずつ変化。当初は美濃ゆかりの陶磁器と、近現代の日本画を中心とした茶道美術品としての色合いが強いものでした。それが新寄附により、九谷焼や肉筆浮世絵、近現代の木彫、そして近年では根来など、新しいジャンルも加わり、幅広い内容となっていました。

つまり、「池田コレクション」は、七尾美術館

とともに成長を続けてきたコレクションである、といえるのかもしれませんが。



「鯉図」 福田平八郎



扁額「對松軒」 北大路魯山人

【コレクションは語る】

現在「池田コレクション」の総点数は204点。内訳は工芸が一番多く、計126点(陶磁69点・漆工39点・金工7点・竹工など11点)です。次に絵画が計61点で、近現代日本画が中心に肉筆浮世絵が8点含まれます。それから、彫刻が近現代木彫を中心に11点、書が6点となります。

内容については、池田氏が活躍した岐阜県美濃地方ゆかりの各作品を中心に、出身地・石川県関連の品々なども加わり、多彩な顔ぶれとなっています。これら個性的な作品をみると、作り手たちの卓越した技量やセンス、そして制作への想いなどを、感じ取ることができるでしょう。

そして、もう一点。作品からは、代々の所有者たちが注いだ「愛情」もみることが出来ます。作品に合うようにきちんと用意された仕覆や包み布、箱、そして、律儀に記された箱書や整理番号などからは、代々作品を所有してきた人びと、そして池田氏の作品に対するあたたかな眼差しが、ひしひしと感じられるのです。

現在、私たちが名品の数々を手に取り、そして鑑賞することができるのは、作品に魂を込めた作り手たちの「想い」と、池田氏をはじめとした、

美術品を愛してやまなかった所有者たちの、「想い」の賜物といえるのではないのでしょうか。

本展では「池田コレクション」より工芸や絵画、彫刻など様々なジャンルの作品を紹介します。各作品を鑑賞しつつ、そこから発せられる、ゆかりの様々な人たちの「想い」に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



「織部鮑形向附」



「木彫養老」 関野聖雲

《新グッズ紹介》

「池田コレクション」関連グッズに、新たな顔が追加されました。今回は絵画の中でも一際華やかな、「近代日本画家色紙画帖」から2種類。ぜひこの機会にどうぞ。



クリアファイル 300円



額絵(2種類) 各200円

◆観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	350円	2200円
	280円	280円	2200円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

モントレイ・ジャズ・フェスティバル・ポスター展

7月24日(水)～8月4日(日)

第1展示室

七尾市の姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州モントレイ市は、世界3大ジャズフェスティバルの1つである「モントレイ・ジャズ・フェスティバル(MJF)」の開催地として有名です。そのモントレイ市と七尾市和倉温泉観光協会が、ジャズを通しての友好を目的として、平成元年に「モントレイ・ジャズ・フェスティバルイン能登」をスタートさせ、今年も7月27日(土)に七尾マリナーパークで開催されます。当館ではこれにあわせ、モントレイ市から七尾市・和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合へ寄贈された、MJFポスター50枚を展示・紹介します。

このポスターは、1963年から95年までの間にアメリカの作家 EARL NEWMAN氏が、著名なジャズ・プレイヤーの演奏する姿やトランペットなどをモチーフに、リトグラフの技法で制作したものです。

ジャズの本場ならではの、躍動感溢れる表現をお楽しみください。

※観覧料は「池田コレクションが語るもの」展と共通料金です。



「1993年 Diz」

石川県立歴史博物館リニューアルオープンプレ企画展示 大名行列がやってきた！

～優品にみる加賀藩～

9月21日(土)～10月27日(日)

第2展示室

石川県立歴史博物館は、昭和43年(1968)開館の郷土資料館を前身として、兼六園に隣接する本多の森公園の赤煉瓦棟を改修、昭和61年に開館しました。

建物自身が貴重な建築物として、重要文化財に指定されている同館。石川県の歴史や文化を広く紹介する総合博物館として、開館以来多くの方々に親しまれてきました。しかし、今年で26年が経過し、施設の老朽化や多様化するニーズに対応するため、展示設備などのリニューアル工事を行うこととなったのです。

新しい歴史博物館のオープン予定は、平成27年の春。それまで同館は全館休館となりますが、その間、所蔵品を鑑賞したいという要望に応えるため、県内3会場(小松市立博物館・石川四高記念文化交流館・当館)で「リニューアルオープンプレ企画展」を順次開催、同館所蔵の優れた作品や史料などを紹介します。

そのうち当館では、「加賀藩」がテーマとなります。前田利家以来、江戸時代約260年の長きにわたって加賀・能登・越中を統治した加賀藩。

「浅葱糸威五枚胴具足」



「能登国探魚図絵」石川県指定文化財

百万石の大藩として、政治や文化、風土など多方面にわたり大きな足跡を遺しました。現在の石川県は「加賀藩」を基礎にしている点が多々みられ、それは「加賀百万石」という言葉が、石川県のシンボルとなっていることにも表れています。

本展では、石川県立歴史博物館の貴重な所蔵品より、「太平の世と武士」「華ひらく技と美」「景勝とくらし」の3本柱(予定)で、加賀藩ゆかりの品々を展示します。

また、会期中は関連イベントとして特別講演会やギャラリートーク、ワークショップなども開催予定です。お楽しみに。

同時開催

漆の美「ジャパン」という名の工芸

第1展示室

日本人と漆との関わりは古く、その歴史は縄文時代にまで遡るといいます。生活用品のみならず、美術工芸品にも幅広く取り入れられてきた漆は、私たちに必要不可欠な存在といえるでしょう。

本展では、「池田コレクション」など当館所蔵品より、様々な漆芸作品を紹介します。



「根来春日卓」(池田コレクション)



「千鳥蒔絵香合」松田権六(池田コレクション)

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	2200円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	280円	2200円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

貸館催し物案内

市民ギャラリー催し物案内

第18回 七尾日創展

7月18日(木)～21日(日)
但し、初日は午後1時から
最終日は午後4時00分まで

無入
料場

公募により県内外から出品された日本画を中心とする絵画約60点を展示します。若さに満ちた作品からベテランの充実した作品まで、個性あふれる作品をおたのしみください。

主催 日創会

連絡先 三宅厚史 ☎0767(77) 1368

第19回 七尾美術作家協会展

7月13日(土)～15日(月・祝)
最終日は午後4時00分まで

無入
料場

協会員90名が日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門にわたり、近作を展示発表します。一部6部門による特別展示コーナーを設けました。個性的な作品をぜひご覧ください。

主催 七尾美術作家協会(会長 吉田 隆)

連絡先 七尾美術作家協会事務局 内藤雄鵬

☎0767(52) 4755



アートホール催し物案内

健康で美しいまちづくり講演会

「自然治癒力をグンと高めるライフスタイル」

無入
料場

7月13日(土) 開演 午後1時00分

世界農業遺産に沿った文化、伝統を継承しつつ「心豊かな人間性」を形成し「生きる力」を高め、地域力の活性化が図られるよう、共に考える機会として開催いたします。

主催 自然農法を楽しむ会のと

連絡先 村田正一 ☎0767(53) 3914

ピティナ・ステップ

無入
料場

7月21日(日) 開演 午前10時00分

ピティナ・ステップは子どもから大人まで、また、ピアノを始めたばかりの方から指導者まで、どなたでもご参加いただける公開ステージです。アドバイザーの先生をお迎えし、直筆のメッセージをいただくことができます。

主催 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

連絡先 平島紀子 ☎090-1110-8724

第11回 石川県NOTOピアノコンクール

課題曲による公開レッスン

7月28日(日) 開演 午後1時00分

8月17日(土)、18日(日)に行われるピアノコンクールの課題曲による公開レッスンです。講師は桐朋学園大学音楽学部特別講師の辻井雅子先生(同コンクール実行委員長)です。

入場料 1,500円

主催 石川県NOTOピアノコンクール実行委員会

連絡先 同実行委員会事務局(ミヤコ音楽堂内)

☎0767(53) 0001

等伯ジャズフェスティバル

要入
場券

8月24日(土) 開演 午後1時30分

「静かさ」と「強さ」そして「やさしさ」と、能登七尾のヒーロー画聖・長谷川等伯。「等伯に寄す」ジャズ音楽とトークショーをお楽しみください！

主催 七尾エンヤワッショイ街巡り実行委員会

連絡先 春木 憲 ☎0767(53) 0005

等伯とOEK 時代を超えた共演

オーケストラ・アンサンブル金沢設立25周年記念

要入
場券

県内縦断コンサート七尾公演

9月8日(日) 開演 午後2時00分

設立25周年を記念してオーケストラ・アンサンブル金沢のメンバーが、七尾出身、長谷川等伯の作品とコラボレート！メンバーが選曲したクラシックと等伯の作品をお楽しみ下さい。

主催 (公財) 石川県音楽文化振興事業団

申込 8月10日(土) 午前10時から七尾美術館、石川県立音楽堂チケットボックス(金沢)にて整理券配付。

連絡先

オーケストラ・アンサンブル金沢事務局

☎076(232) 0171

第9回 メロディーパレット

無入
料場

9月29日(日) 開演 午後1時30分

1部は小学生から高校生の皆さんによる、それぞれの個性を活かしたピアノ独奏の世界を、2部は人との和を大切にした連弾、アンサンブル、合唱等、楽しい世界をどうぞお聴きください。

主催 石田ゆかり門下生

連絡先 石田ゆかり ☎0767(53) 4628

祝！安部龍太郎氏 小説「等伯」直木賞受賞

◆今年1月16日、第148回直木賞に、安部龍太郎氏の『等伯』がめでたく選ばれました。出版前の新聞連載では、珠洲市出身の西のぼる氏が挿絵を手掛けられました。題材に「等伯」を薦めたというだけあって、独特の色調や構図が物語とびつたり合って、等伯の世界により引き込まれた方も多いのではないのでしょうか。

◆5月5日には当館で開催中の「長谷川等伯一門と能登」展に併せて、安部氏、西氏、当館的場芸員とのギャラリートークが開催され、小説にも出てくる作品



5月5日の「長谷川等伯一門と能登」展示室、ギャラリートークの様子（左から安部氏で夫妻、西氏、的場芸員）。

を見ながら、皆さん興味深く聴いておられました。また、同日夕方には関係者らによる受賞記念祝賀会が開催され、多くの来場者で賑わいました。

その席では、なんと中央のセリから安部氏と奥様が二人並んで登場するシーンがあり、照れたお二人の姿がとても印象的でした。

★安部氏、西氏のお陰で、当館には全国から「新たな等伯ファン」が来館されています。安部さん、西さんに心から御礼申し上げると共に、改めておめでとうございます。

第14回 石川県七尾美術館 友の会鑑賞の旅を終えて

今回は、『友の会鑑賞の旅』がスタートして以来初、特別企画として漆芸作家の山岸一男先生（輪島市在住）をゲストにお迎えして、三重県伊勢市へ向かいました。

予定時刻ぴったりの午前5時に美術館を出発。早朝とはいえ、すっかり夜は明け、青空の広がるさわやかな天気の旅日和です。

バス車中では、伊勢の神宮公式DVDの視聴や式年遷宮に関する解説があり、山岸先生から漆芸作品制作にまつわる興味深いお話し（制作工程や仕事場での様子）を聞くことができました。先生は漆芸作家として、『後継者を育てる』ことにも力を注がれていることや、昨年、紫綬褒章を受章されたことにも触れ「今まで制作を続けることができたのも家族の支えがあったからこそ」と一緒にご参加下さった奥様へさりげなく感謝の気持ちを伝える姿がとても印象に残りました。

移動時間短縮を図りコース変更をした甲斐あって、1時間早く目的地付近に到着。急遽訪問順序を変更し、まずは伊勢神宮・外宮へ向かうことに。到着してすぐに神宮関係者の方がバス駐車場まで迎えに来て下さいました。『式年遷宮記念 せんぐう館』内において伊勢神宮や式年遷宮について、また、様々な御装束神宝や神宮のお祭りなどについて丁寧なわかりやすく説明して下さい、「現代日本における美術工芸の粋が結集した御装束神宝に感嘆、感動しました」と参加者からの言葉が

ありました。好天の5月ということもあり、参拝者で賑わう中、参加者全員で外宮（豊受大神宮）に参拝をしました。再びバスに乗り昼食先の宮内庁・神宮司庁御用達『割烹・大喜』へ。

内宮へは予定より早く到着したため自由時間を設定しました。おはらい通り・おかげ横丁に向かう方、御守り購入に神楽殿へ向かう方…どちらへ向いても参拝者でいっぱいです。鳥居の前では「お白石持ち行事」に向けての木遣り奉納があり、とても賑やか！宇治橋を渡り、木立の生い茂った参道を進むと、とても清々しい気持ちになります。内宮（皇大神宮）に参拝した後、神楽殿へ。神楽の調べ、巫女による倭舞が素晴らしく、まるで異次元空間にいるよう…。参加者もなんともいえない穏やかな表情で聞き入っていました。余韻に浸りつつ名残惜しい気持ちをこらえて帰途へつきました。

お陰様をもちまして参加者皆様ご協力のもと、旅を無事終えることができました。

最後になりましたが、今回大変お世話になりました山岸一男先生、神宮関係者の方々に心よりお礼申し上げます。



せんぐう館



五十鈴川御手洗場



正宮（内宮）前



これからの展覧会予定



◆第1・2・3展示室

「2013 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

平成25年11月8日(金)～12月15日(日)

会期中無休

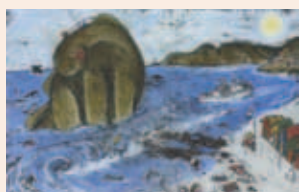
イタリアの古都ボローニャで毎年開催される、絵本原画コンクールの入選作品を紹介します。世界中から応募があり、今年は23カ国77作家が選ばれました。5枚1組で構成されるイラストはバラエティ豊かで個性に溢れています。

今回の特別展示「ボローニャ発世界へ - 絵本作家たちの挑戦」では、ボローニャ・ブックフェアでの編集者との出会いから絵本を出版した、日本人作家21人の絵本と原画を紹介します。人気作家、三浦太郎の特集展示もあり、6タイトルの原画を展示します。

印刷された絵本からは感じることのできない原画の魅力をお楽しみください。



「Lonely Pippo」 刀根里衣 (日本)



「Table Mountain's Holiday」
Lucy Stuart-Clark (南アフリカ共和国)



「くっついた」 (こぐま社) より 三浦太郎

◆第1・2展示室

「綾部・その自由な意匠 ～池田コレクションから～」

「古美術絵画展 ～祈りの美術を中心に～」

平成25年12月21日(土)～平成26年2月16日(日)

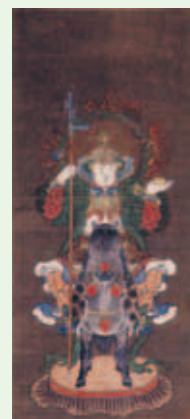
第1展示室では、当館所蔵の池田コレクションから、織部の茶碗・向附・鉢・徳利など約25点を展示します。

第2展示室では、古美術絵画の中から祈りに関連する仏画などを中心に、約20点を紹介します。

※長谷川派の作品も展示します。



「織部沓形茶碗」
当館蔵 (池田コレクション)



「愛宕権現図」
長谷川信春 (等伯) 当館蔵

◆7月～9月の休館日◆

7月 1, 5, 8, 16, 22, 29

8月 5～9

9月 17～20, 24,

◆開館時間◆

午前9:00～午後5:00

(入館は午後4:30まで)



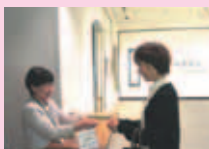
割引、プレゼントなど特典いろいろ /
ぜひ当館でもご利用ください。

ボランティアしてみませんか？

お客様が鑑賞しやすいように目配りしていただき、時には、マナーについての声掛けなどもしていただいています。

現在40名の皆さんが楽しく、無理なく活動しておられます。

詳しくはお電話で。どうぞお気軽にお問い合わせください。



場所：七尾美術館の展示室内

活動：9時～13時と13時～17時 (半日交替)

石川県七尾美術館友の会 会員募集中！

会員の特典は…

- ① 美術館だよりの郵送
- ② 当館主催展覧会観覧料の割引
- ③ 喫茶室利用料金の割引
- ④ 特別企画展開会式へご招待(無料)
など、ほかにもいろいろ。

年会費は1,000円です。ぜひご入会ください！



昨年の等伯展開会式



飛行機……能登空港からのと里山海道利用約45分

車……金沢からのと里山海道利用約1時間15分

タクシー……JR七尾駅から約5分

徒歩……JR七尾駅から約20分

市内循環バスまりん号

…JR七尾駅前「ミナ、クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車
なおコミュニティバスぐるっと7

…JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

◎次号・第75号(秋号)は10月1日発行予定です。